

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地
 川崎重工業(株) 精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内
 TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

第35回政策委員会を開催しました

第35回政策委員会を3月25日(金)16:00～17:00まで、芝パークホテルにて開催しました。会議に先立ち、来賓として出席された経済産業省産業機械課横山課長補佐から、ロシア・ウクライナ紛争に関して、国の最近の動向や輸出貿易管理令の改正等について、資料に沿った説明があり、それに関して、出席者3名から質問、コメント等がありました。その後、事務局より開会を宣し、安藤会長の議事進行により会議が進行しました。事務局は配布資料1号で2021年度事業報告書(案)について以下のような概要説明を行いました。「工業会活動は、2021年度に引き続き、リモ



政策委員会会場風景

ートワークや時差通勤、WEB会議の活用など、新型コロナウイルス感染防止対策を行った中での事業となり

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第35回政策委員会開催	1	今後の主要行事予定	4
委員会開催・活動状況		月間行事概要	6
標準化事業	2		
技術調査事業	4		
会員ニュース	4		
訃報	4		

(一社) 日本フルードパワー工業会
 URL : <http://www.jfpa.biz/>

ました。2021年度も新型コロナに振り回された年度となりましたが、業況としては、コロナ禍当初での世界的生産活動の縮少の反動もあり、2021年の出荷額は、油圧部門では、3,973億円（対前年比17.9%増）、空気圧部門では、5,537億円（対前年比34.4%増）となったことを説明し、続いて、需要対策事業、国際交流事業、標準化事業、技術調査事業、広報・PR事業、中小企業関連事業、振興対策・PL対策・その他事業の各事業毎にポイントを絞って説明を行いました。

続いて、資料2号で収支計算書(案)について、事業活動収入、同支出、投資活動収入、同支出について説明し、2021年度の収支差額は約5百万円のマイナスとなり、次期繰越収支差額は、約98百万円となったことを説明しました。

議長が、議案について諮ったところ、異議がなかったことから、次回理事会に上程することが決まりました。会議終了後、その会議場にて、簡単な懇親会を行いました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業  
~~~~~

空気圧調質機器分科会

日時 3月1日(火)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 土岐主査以下5名(うちリモート:5)
事務局 前畑
議事

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO_20145改正新規プロジェクト開始の賛否→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。

次いで、ISO_20145_Annex(サイレンサ規格)に関して日本提案に対してコメントがあり、その回答について討議した。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、ISO_20145_Annex(サイレンサ規格)規格化の推進及びJIS_B8371-1改正の検討を実施することした。次回開催:4月5日、機械振興会館+リモート

油空圧シリンダ分科会

日時 3月3日(木)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 渡部主査以下7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議事

委員の交代があり、SMC:根本慎一郎委員・協和文委員から田村健委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/TC131/SC3/WG1コンベンナー再任投票→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/CD_21287コメント回答に対する賛否に関して各委員で検討することとした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。

次いで、JIS_B8377-2(シリンダの試験・検査-第2部:油圧シリンダ受渡検査)の改正について、対応国際規格(ISO_10100)と比較しながら修正作業を行った。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、継続してJIS_B8377-2改正を実施することした。

次回開催:5月10日、機械振興会館+リモート

油圧システム分科会

日時 3月8日(火)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 町田主査以下7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議事

委員の交代があり、不二越:山田健治委員から岡本恵一委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/SR_1219-3:定期見直し投票→JIS化時のISO提案をコメントとして付けて継続(Confirm)、ISO/TC131/SC9/WG1新規提案に対するコメント収集→特になし、で投票したとのこと。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。

また、2021/10/28&11/11:ISO/TC131/SC1/WG2国際会議及び11/3:ISO/TC131/SC9/WG1国際会議の報告があり、情報共有した。

次いで、JIS_B0142(油圧・空気圧システム及び機器-用語)の改正について、対応国際規格(ISO_5598)と比較しながら修正作業を行った。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、継続し

て JIS_B0142 改正を実施することした。
次回開催：6月21日、機械振興会館+リモート

空気圧システム分科会

日時 3月10日(木)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 鈴木主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/TC131/SC9/WG2 コンベナー再任投票→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、JIS_B0142 (油圧・空気圧システム及び機器一用語) の改正について討議した。空気圧用語に関して、各委員で分担・検討し、次回分科会で審議することとした。

次いで、JFPS_2011 (空気圧用図記号の実用指針) の改正について討議した。今後、全体構成の再編成した上で、具体的な修正作業を実施することとした。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、継続して JIS_B0142 改正および JFPS_2011 改正を実施することした。

次回開催：6月8日、機械振興会館+リモート

油圧ポンプ・モータ分科会

日時 3月15日(火)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 加藤主査以下11名(うちリモート:11)
事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO_4392-2：定期見直し投票→継続 (Confirm)、ISO_8426：規格帳票分割化および内容改訂の賛否→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、ISO_8426 (Hydraulic fluid power — Positive displacement pumps and motors — Determination of derived capacity) 改訂内容検討および JIS_B8384 (油圧一容積式ポンプ、モータ及び一体形トランスミッション一定常状態における性能測

定方法)改正可否検討を実施することした。また、主査の交代があり、KYB：加藤弘毅主査からダイキン工業：庄司忠史主査に交代された。

次回開催：7月13日、機械振興会館+リモート

油空圧シール分科会

日時 3月22日(火)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 南主査以下14名(うちリモート:14)
事務局 前畑

議事

委員の交代があり、阪上製作所：太田正貴委員から安西祐二委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、JIS_B8396 (油圧一シリンダー往復動用ピストン及びロッドシールのハウジング一寸法及び許容差) の改正について討議した。対応国際規格 (ISO_5597) の改訂内容を確認すると共に、改正作業の進め方について検討した。

最後に、今年度活動実績及び来年度活動計画について討議した。来年度テーマとしては、継続して JIS_B8396 改正を実施することした。

次回開催：6月22日、機械振興会館+リモート

J I S 原案作成委員会

日時 3月30日(水)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 北川委員長以下12名
事務局 前畑

議事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)・香川副委員長(東京工業大学名誉教授)の挨拶及び各委員自己紹介の後、①JIS_B2355-2「油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部-第2部:高圧用(Sシリーズ)継手端部-寸法・設計・試験方法・要求事項」(油空圧継手・ホース分科会)、②JIS_B8665「油圧-バルブ取付面及びカートリッジ形弁取付穴形状の識別コード」(油圧バルブ分科会)、のJ I S原案について審議を行った。

審議の結果、各委員からの指摘事項について修正し、2022年5月末までに日本規格協会へ成果物(原案及び各種帳票)を提出することとした。

* ISO の動き

・2022年4月末までの開催予定の国際会議はコロ

ナウウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ている。

- ・2022年のISO/TC131国際会議は、春季(5月)：ウェブ会議、秋季(10月)：日本・姫路、で計画されている。

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

水圧部会

日時 3月10日(木)、10:00~12:00
場所 機械振興会館JFPA会議室+リモート
出席者 7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議事

最初に懸案事項であった部会長選出を行った。その結果、内田晃委員(日本アキュムレータ)が就任承諾頂き、来年度より就任頂くこととなった。ただし、任期は1年で、輪番制とした。

次いで、現在のグループ構成について討議した。現時点では、PR(広報)グループ:1、MR(市場調査)グループ:12とバランスが悪いため、今後は、PRG:3以上、MRG:残りとし、次回部会にて決定することとした。

次いで、来年度の活動計画について討議した。概略として、PRG:水圧ブログ作成、MRG:展示会視察とし、具体的な活動内容・スケジュールについては、各Gで案を作成し、来年度初回部会にて審議・決定することとした。また、開催回数は、年4回(4月、7月、10月、1月)とした。次回開催:4月26日、機械振興会館+リモート

技術委員会空気圧部会第588回特許分科会

日時 3月25日(金) 13:30~14:40
場所 Web会議
出席者 井野幹事以下3名
事務局 吉田
議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。4件について引き続き調査をすることとした。2022年度特許分科会運用計画について意見調整を行った。

次回開催:4月22日(金) Web会議

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆社長交代

日本オイルポンプ(株)から社長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

2022年3月21日付
(新任)
代表取締役社長 阿部 治

☆社長交代

ナブテスコ(株)から社長の交代の連絡がありましたのでお知らせします。

2022年3月24日付
(新任)
代表取締役社長 木村 和正

~~~~~  
訃報  
~~~~~

当工業会理事を永く勤められました(株)山本水圧工業所の山本和司氏(90歳)が、3月11日(金)にお亡くなりになりました。通夜及び告別式は、近親者のみの「家族葬」で執り行われました。謹んで哀悼の意を表します。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆4月22日(金)第93回理事会・懇親会

(時間) 15:30~16:50:理事会
17:00~19:00:懇親会
(場所) ザ・プリンスさくらタワー
東京(品川)

☆5月19日(木)第23回定時総会・懇親会

(時間) 15:30~16:50:定時総会
17:00~19:00:懇親会
(場所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆5月20日(金)第60回JFPA懇親ゴルフ会

(場所) 横浜カントリークラブ

~~~~~  
3月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(標準化事業)
空気圧調質機器分科会
開催日 3月1日(火)
出席者
主査 土岐真人(コガネイ)
委員 檜垣匡光(SMC)
〃 國崎雄嗣(CKD)
〃 宮本秀樹(TAIYO)
特別参加 小田敏裕(甲南電機)

油空圧シリンダ分科会
開催日 3月3日(木)
出席者
主査 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)
委員 根本慎一郎(SMC)
〃 脇和文(SMC)
〃 田村健(SMC)
〃 塩田浩司(コガネイ)
〃 東川智信(TAIYO)
〃 山田真の介(TAIYO)

油圧システム分科会
開催日 3月8日(火)
出席者
主査 町田哲治(東京計器)
委員 中川幸隆(川崎重工業)
〃 伊藤隆(KYB)
〃 三浦克基(豊興工業)
〃 岡本恵一(不二越)
〃 山本裕(ボッシュ・レックスロス)
〃 柏野智(油研工業)

空気圧システム分科会
開催日 3月10日(木)
出席者
主査 鈴木一成(妙徳)
委員 張本護平(SMC)
〃 吉田典世(甲南電機)
〃 寺木功一(コガネイ)
〃 増尾秀三(CKD)
〃 田中幸子(アトラスコプコ)

油圧ポンプ・モータ分科会
開催日 3月15日(火)
出席者
主査 加藤弘毅(KYB)
委員 黒川道夫(イトン)
〃 吉村勇(川崎重工業)
〃 金谷顕一(島津製作所)
〃 庄司忠史(ダイキン工業)
〃 辻井喜勝(タカコ)
〃 賀集賢太郎(東京計器)
〃 三浦恵史(豊興工業)
〃 稲田哲也(ボッシュ・レックスロス)
〃 林明宏(油研工業)
〃 宮田拓也(小松製作所)

油空圧シール分科会
開催日 3月22日(火)
出席者
主査 南暢(バルカー)
委員 菅井勝利(SMC)
〃 曾谷崇(甲南電機)
〃 安西祐二(阪上製作所)
〃 山田真の介(TAIYO)
〃 菊地大輔(東京計器)
〃 奥田智昭(三菱電線工業)
〃 林明宏(油研工業)
〃 但木郁夫(荒井製作所)
〃 寺島剛資(エア・ウォーター・マッハ)
〃 宗岡祥平(NOK)
〃 宮本博夫(NOK)
〃 真田秀幸(日東工器)
〃 高牟礼辰雄(JFPA)

JIS原案作成委員会
開催日 3月30日(水)
出席者
委員長 北川能(東工大名誉教授)
副委員長 香川利春(東工大名誉教授)
委員 伊藤輝(日本規格協会)
〃 大槻文芳(日本工作機械工業会)
〃 菊地治彦(芝浦機械)
〃 中野喜之(パナソニック)
〃 岩崎宏文(イハラサイエンス)
〃 石井克昌(横浜ゴム)
〃 高野一治(油研工業)
〃 藤坂昌廣(豊興工業)
〃 八上光春(廣瀬バルブ工業)

〃 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

(技術調査事業)

水圧部会

開催日 3月10日(木)

出席者

委員 内田晃 (日本アキュムレータ)

〃 黒須寛 (イハラサイエンス)

〃 高橋祐輔 (阪上製作所)

〃 岩佐光浩 (三輪精機)

〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)

〃 細井耕平 (堀内機械)

〃 神田健一 (丸山製作所)

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

技術委員会空気圧部会第588回特許分科会

開催日 3月25日(金)

出席者

幹事 井野雅康 (SMC)

委員 安田善仁 (甲南電機)

〃 瀧 芳久 (CKD)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<3月>

1日(火)

・標準化(委)空気圧調質機器分科会

3日(木)

・標準化(委)油空圧シリンダ分科会

8日(火)

・標準化(委)油圧システム分科会

10日(木)

・技術(委)水圧部会

・標準化(委)空気圧システム分科会

15日(火)

・標準化(委)油圧ポンプ・モータ分科会

22日(火)

・標準化(委)油空圧シール分科会

25日(金)

・技術(委)空気圧部会第588回特許分科会

30日(水)

・標準化(委)JIS原案作成委員会